

2021年4月21日

各位

ウイン・パートナーズ株式会社

RFIDを活用した実証実験サポートに関するお知らせ

この度、当社では今年3月中旬より、厚生労働省が行う地域医療基盤開発推進研究事業の1つで、自治医科大学附属さいたま医療センター（遠藤俊輔センター長）が実施している、「医療機関における医療安全および業務効率化に資する医薬品・医療機器のトレーサビリティ確立に向けた研究（研究代表者：国立国際医療研究センター：医療情報基盤センター 美代賢吾センター長）」において、同センターの循環器内科、藤田英雄教授のサポートをさせていただくことになりましたのでお知らせいたします。

この事業は病院内で使用される医療機器のトレーサビリティ（追跡可能性）を確保し、その情報を院内のみならず、製造業者、卸業者での活用可能性について検討するものです。具体的には、RFID（Radio Frequency Identification：無線を利用したモノを識別する技術の総称）を用い、カテーテル処置室内で使用される医療機器の一部にICタグを貼り、使用した品目ごとにそれをスキャナで読み取ります。従来のバーコードと違い、テーブルスキャナで離れた場所でも情報を読み取ることができるため、情報伝達のスピード、情報の正確性が向上することが期待されています。

当社でも、この度の研究事業へのサポートで得た知見を業務効率化に活かしてまいります。